



インフルエンザに胃腸炎・・・様々な感染症が増加中！

インフルエンザ、感染性胃腸炎、溶連菌など様々な感染症の発生が増加しています。症状があるときは無理せず自宅で過ごし、適切な時期に受診しましょう。

インフルエンザ

症状

38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感など。重症化に注意。

注意点

- ・ワクチンは発病率や重症化率を低下させる効果があるため、流行前に接種しておく。
- ・抗ウイルス薬で治療するには発症後48時間までに受診を。一方、検査は発症後24時間程度経過してからがベストなため、受診は早すぎず遅すぎないタイミングで。

出席停止期間

発症後5日を経過し、かつ解熱後2日(幼児は3日)を経過するまで。

溶連菌

症状

発熱、のどの痛みに加えて、子どもは舌が赤くなりブツブツとした発疹ができたり(イチゴ舌)、全身に痒みを伴う細かい発疹がでることも。腎臓や心臓の合併症に注意。

注意点

- ・菌が残ると合併症を引き起こすリスクがあるため、処方された抗菌薬は最後まで飲み切る。

出席停止期間

抗生剤治療開始後から24時間を経て全身状態がよくなるまで。



ウイルス性胃腸炎

症状

ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルス等による。下痢、嘔吐、発熱など。

注意点

- ・便には1か月程ウイルスが排出されているのでオムツ交換やトイレ後は手洗いを徹底。ノロウイルスに効果のある酸性アルコール消毒を併用するのもオススメ！
- ・吐物や便で汚れたものは熱湯消毒か、塩素系漂白剤で消毒を。

消毒方法

- ①換気をし、マスク、手袋、眼鏡等を身につける。
- ②塩素系漂白剤を希釈する。
ハイターなら水500mlにペットボトルのキャップ2杯。
- ③希釈した消毒液に浸し絞った紙等で汚物をふく。ふき取った紙等は、ビニール袋に密閉して捨てる。
- ④広めに消毒し10分置いたのち、新しい紙等で水拭きする。
- ⑤汚れた衣類などは、水洗い後に希釈した消毒液に10分浸してから、洗濯機で洗う。水洗いした場所も忘れずに消毒する。



塩素系漂白剤の注意点！

- ・酸性の物とまぜない・直接触れない
- ・スプレーで噴霧しない・腐食作用、漂白作用があり金属や染め物には注意・作り置きしない

☆ ご予約・お問い合わせ ☆

いなみ虹保育園・病後児保育室「レインボー」

住所：兵庫県加古郡稲美町国安1256番地

TEL：079-490-2064(専用電話)

FAX：079-490-6682

* 詳しくは「いなみ虹保育園HP」「稲美町HP」をご覧ください。

編集：篠田